

令和5年度(後期)  
桐蔭横浜大学  
履修証明プログラム

【中小企業対象】

DX時代を切り拓くリスキリング講座

## 募集要項



TOIN UNIVERSITY  
OF YOKOHAMA

## 1. 履修証明プログラムとは

履修証明プログラムとは、学校教育法第 105 条及び学校教育法施行規則第 164 条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書(Certificate)を交付するものです。人材養成目的に応じて必要な講習(授業科目ではない科目)を体系的に編成(総時間数 60 時間以上)した教育プログラムです。

今後も本学では、社会人等に対する多様なニーズに応じた体系的な教育、学習機会の提供を行うことにより、職業キャリアに取り組んでいきます。

<参考ホームページ> 文部科学省:大学等の履修証明制度について

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shoumei/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/)

## 2. 開講プログラム名称

中小企業対象 DX時代を切り拓くリスキリング講座

## 3. プログラムコース・授業科目等の概要

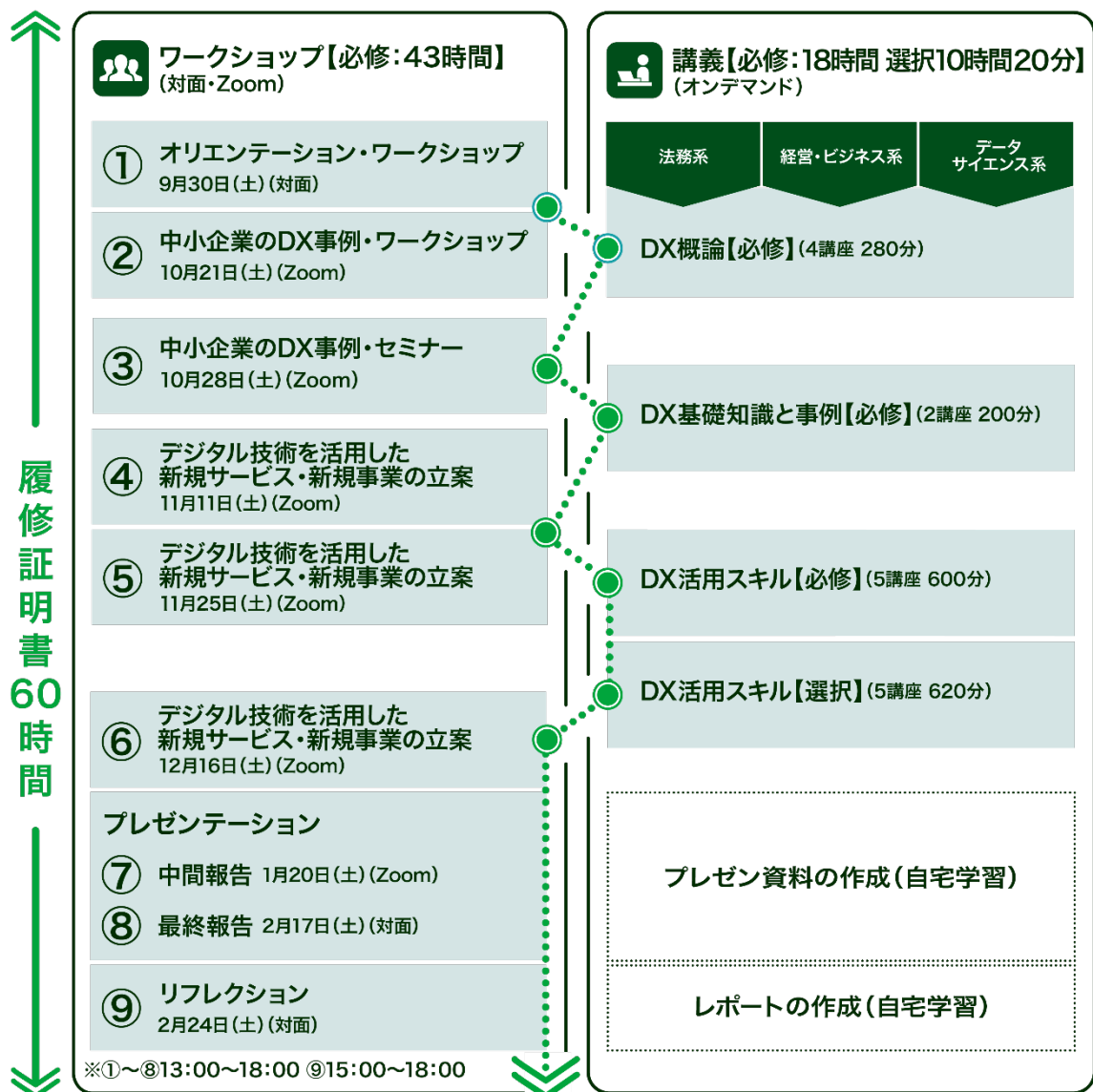
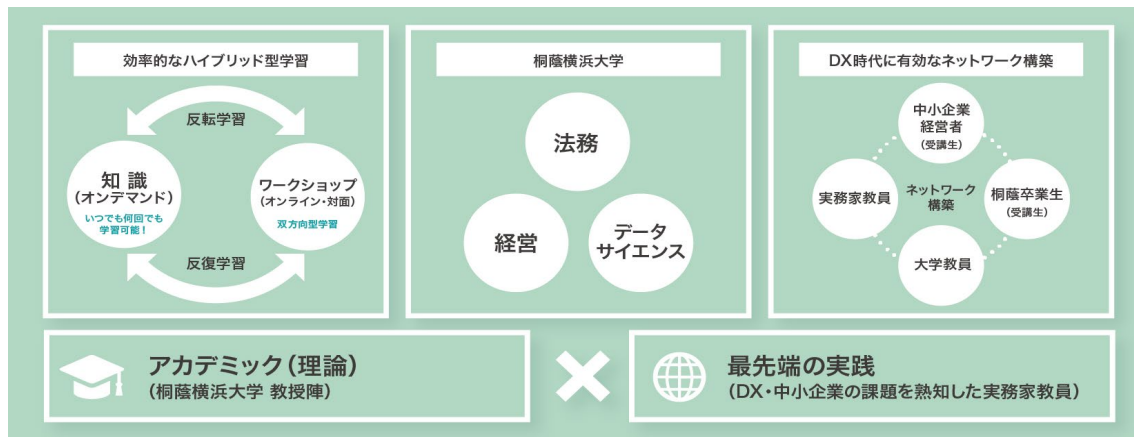
本講座は、1)ワークショップ(必修 43 時間)(対面・Zoom)と、2)講義(必修 18 時間、選択 10 時間)(オンデマンド)で構成されています。

講義では、DX 時代に必要な知識をオンデマンドで効率的に習得し、週末に開講する、全 9 回のワークショップ(対面・Zoom)では、自社で実装できる、新しいサービスモデルや事業案の策定を行います。履修証明プログラムは、所定期間に 60 時間以上学習する必要があります。業務等のために所定期間に講義(オンデマンド講座)の学習が終了しなかった場合は、半年間の延長が可能です(別途受講費用 1 万円要)。

### <到達目標>

- ①法務・経営・データサイエンスの基礎からDX時代に必要な知識を習得する。
- ②3 分野の知識を統合して、自社の問題点や強みが何かわかる。
- ③3 分野の知識を活用・統合して、新規事業案の策定ができる。

## 4. カリキュラム体系



## 5. プログラムコース・授業科目等の概要

プログラム コース名	<b>DX新規事業立案ワークショップ【必修】</b>	
コース概要	全9回のワークショップを通して、デジタル技術を活用した自社の新規サービス・新規事業の立案・プレゼンテーションを行う。DX時代の中小企業の経営者・事業承継者に必要な知識である法務・経営・DX(デジタル・トランスフォーメーション)をオンデマンドで効率よく学び、対面・Zoom・オンデマンドのハイブリッド型で学習する。知識と実践を融合し、自身をリスキリングすることで飛躍的に自社を変革する力を身につける。	
科目群① タイトル	<b>DX新規事業立案ワークショップ【必修】</b>	<b>43 時間</b>
講座名	科目概要	時間
	9/30(土) ①オリエンテーション・ワークショップ(対面)	13:00-18:00
	10/21(土) ②小企業のDX事例ワークショップ(Zoom)	13:00-18:00
	10/28(土) ③小企業のDX事例セミナー(Zoom)	13:00-18:00
	11/11(土) ④デジタル技術を活用した新規サービス・新規事業の立案①(Zoom)	13:00-18:00
	11/25(土) ⑤デジタル技術を活用した新規サービス・新規事業の立案②(Zoom)	13:00-18:00
	12/16(土) ⑥デジタル技術を活用した新規サービス・新規事業の立案③(Zoom)	13:00-18:00
	1/20(土) ⑦中間報告(Zoom)	13:00-18:00
	2/17(土) ⑧最終報告(対面)	13:00-18:00
	2/24(土) ⑨リフレクション(対面)	15:00-18:00

科目群② タイトル	<b>DX 概論【必修】 講義(オンデマンド)</b>	<b>280 分</b>
科目名	科目概要	時間
	加速するDX時代を生き抜く方法	40分×1
	海外最新テクノロジー動向とリスキリング	40分×1
	データサイエンスの基礎知識	40分×3
	中小企業に必要なDX時代のリスキリング	40分×2

科目群③ タイトル	DX 基礎知識と事例【必修】講義(オンデマンド)	200 分
科目名	科目概要	時間
	DXイノベーション事例① 最新デジタル技術の理解と新規事業創出事例	40 分×3
	DX イノベーション事例② ニューノーマル時代の社内 DX の推進	40 分×2

科目群④ タイトル	DX活用スキル【必修】講義(オンデマンド)	600 分
講座名	科目概要	時間
	法律の観点から見た DX 時代の諸問題と対応	40 分×3
	DX 時代のコンプライアンスと危機管理	40 分×3
	ビジネスインパクトを与える経営計画策定法	40 分×3
	地域金融機関から見た中小企業 DX と事業承継	40 分×3
	DX時代のマーケティング基礎	40 分×3

科目群⑤ タイトル	DX 活用スキル【選択】講義(オンデマンド)	620 分
科目名	科目概要	時間
	リモート時代の個性を活かすチームづくり	60 分×1
	対面にも役立つオンライン・プレゼンテーション講座	80 分×3
	経理の DX 化	40 分×3
	DX 推進とサイバーセキュリティ対策	40 分×2
アサーティブコミュニケーション	40 分×3	

## 6. 募集要項

### 1) 募集人員(令和5年度20名) (最低開講人数 6名)

\*ワークショップでの学習の質保証のため、最低開講人数を設定しております。

\*最低開講人数に満たない場合は、開講しないことがありますので、ご了承ください。

### 2) 出願資格

以下の①②のいずれも満たす方。

①高等学校卒業者または同等以上の学力がある方。

② Zoom やオンデマンドによる学習があるため、パソコンに関する基本的な知識(インターネットやメールの利用、Word、Excel など)がある方。

### 3) 出願書類

①履歴書(様式1) ②志望理由書(様式2)

履修証明プログラムのサイトより所定の様式1. 2をダウンロードして出願してください。

<https://www.toin-sgc.com/dx>

### 4) 出願方法・選考

①出願期間:**2023年7月15日(土)~9月5日(火)必着**

②出願方法:必要書類を簡易書留で出願期間内に以下の住所まで送付してください。

〒225-8503 横浜市青葉区鉄町1614番地

桐蔭横浜大学トランジションセンター大学事務室 履修証明係

③選考方法:書類選考

### 5) 受講手続き

①受講可否のお知らせ:2023年9月中旬 郵送にてお知らせします。

なお、出願に際して提出された資料の返却はできません。また、受講可否決定の理由に関するお問い合わせには対応いたしかねますので、了承の上、出願してください。

②受講手続き:本講座の受講を許可された者は、下記期限までに受講料納入のうえ、受講手続きを行ってください。手続きの詳細については受講許可通知に同封する振込案内文をご確認ください。なお期間内に手続きを完了していない場合、受講許可が取り消しとなります。

③手続き必要書類:a. 振込を証明する書類(受講料の振込が確認できるもののコピー、ATM(現金自動預払機)の場合は「ご利用明細」のコピー) b. 受講証作成用の写真 3ヶ月以内、4cm×3cm サイズ。スナップ写真や不鮮明なものは不可。 c. 免許書もしくは保険証のコピー ※本人確認のために使用いたします。

④受講手続き期間:**2023年9月20日(水) (必着)**

## **6)費用**

①出願料： 無料

②受講料： 150,000 円 (桐蔭学園・桐蔭横浜大学卒業生 120,000 円)

## **7)履修期間・修了要件**

①履修期間：2023年9月30日(土)～2024年2月24日(土)

※初年度の受講期間内で必要時間数を満たせず、在籍期間を延長する場合は、登録料 10,000 円が別に必要となります。

②修了認定：

必修科目合計60時間以上の履修が必要です。

講義科目(オンデマンド動画)は視聴後のコメント・また、科目に応じてレポートが課されます。新規事業デザインワークショップの最終プレゼンテーションとレポートによって評価し、修了認定を行います。修了要件が認められた方は、大学より履修証明書を発行します。

## **8)教育訓練給付制度(一般教育訓練)**

一般教育訓練に関する教育訓練給付制度とは、働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)または被保険者であった者(離職者)が、厚生労働大臣の指定する一般教育訓練講座を受講し、修了した場合、本人自らが教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%に相当する額がハローワーク(公共職業安定所)から支給されます。

※制度の詳細については、厚生労働省のホームページにてご確認ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

## **9)受講に際しての注意点**

①受講中は担当教員の指示に従ってください。万一、授業の妨げや他の受講生に迷惑になる行為があった場合には、退席していただきます。

②このプログラムで履修した授業の単位認定はありません。

③ワークショップの遅刻・早退が規定回数(2回)を超えた場合、講義科目の受講期間中の学習が確認できない場合(コメントやレポートが未提出)は、その科目は評価対象外(不合格)となり、履修証明書発行に必要な時間数(60時間)に組み入れることはできません。

④自然災害(台風・地震など)や担当教員の都合(公用、校務、出張、学会、病欠など)で授業が休講となる場合があります。また、所定の曜日時限以外に補講を行う場合があります。休講・補講は、原則専用の Web ページにてお知らせしますので、授業前に必ず確認してください。

⑤このプログラムの受講では学籍は付与されませんので、通学定期用の通学証明書および学生割引証(学割)は発行されません。

⑥このプログラムを受講している期間は、本学の図書館、学生食堂を利用することができます。

**【個人情報の取り扱いについて】**

出願および入学手続きにあたって、提供いただく個人情報(①氏名、②住所、③その他個人情報)は、試験、合格通知、入学手続き、履修指導、その他付随する業務等以外では利用いたしません。